

むさし野

No.20

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
電話 049-225-2466
E-mail : ishi.mkyr@r8.dion.ne.jp

会員の皆様のご健康とご多幸を

会長 石井 満



今年こそは富士山に登ってみようと思っております。毎年7月1日の開山が伝えられると、いつ行こうか、いつ行こうか、と思いつながら台風とぶつかってしまい行かずじまいでいます。富士山は標高が高いので登山の出来る期間が短いと言う事もありますが、何方かご一緒していただける方がいらっしゃいましたらお知らせください。

さて、『法政・むさし野会』では、総会を6月に予定しております。会場予定の「さいたま市民会館うらわ」の予約受付が3月になりますので、会員の皆様には5月号でお知らせ出来る事と思います。現在講演者の人選も合わせて行っているところです。ご期待下さい。

『法政・むさし野会』が唯一の通教卒業生の校友会として新しく運営を始めて7ヶ月が経ちました。運営の根幹とも言うべき会員による講演会を2回催行しました。何れも素晴らしい内容でした。この会はやはりアカデミックな会として運営して行こうと言う気持ちを強くしております。どうぞ今年こそは『会』へ足をお運び下さい。

会員の皆様のご健康とご多幸を、お祈り申し上げます。

謹んで新春をお慶び申し上げます

顧問 内田吉久



会員の皆様には、昨年は法政大学オレンジ同窓会埼玉県支部から『法政・むさし野会』への大転換を遂げて、新しい会の発足で大変なご苦勞を頂き感謝申し上げます。

新役員の指導と全会員の協力で会員による発表会も順調に進み先日は、井上一生氏「経営学部」による「陽明学者・山田方谷の事業再生革命」の発表では、方谷の財政再生の手腕に敬服しましたが、歴史を学ぶものとして、藩財政が窮乏した原因を追求する必要を感じ後日急いで、県立浦和図書館に行って関係資料を取り寄せて、再確認をした処、矢張り藩主の奢侈淫蕩が某書に記述されていました。上に立つ者が姿勢を正さなければ、下も上に倣って綱紀が緩み政治も乱れ財政も苦しくなる。偶々先祖が旗本山岡重兵衛家の財政改革を担当いたしましたでしたが、山田方谷のような功績を上げることなく。逆に責任を取らされて、借金を棒引きにされた上に山岡家の三百余両の借用証書が残る始末です。山田方谷が短期間に財政再建を果たした功績には全く頭が下がります。旗本山岡家の財政については後日発表の機会を得たいと思っております。

研究発表「陽明学者・山田方谷の事業再生革命」を聞いて

竹村栄雄

11月20日の研究発表会は井上一生さんが『陽明学者・山田方谷の事業再生革命』と題して、幕末、備中松山藩の財政建直しなど藩政の改革に功績のあった山田方谷の人と業績を紹介されました。また井上さんご自身が「感性経営道・経営維新塾」を主宰されている関係で現代の経営者の抱えている問題が幕末期においても時空を超えて相通じることが多いという話で興味をもって聞くことができました（写真下）。



山田方谷は問題点を読み取る洞察力、それに対する最適な処方箋を用意して産業振興、藩札刷新による信用の回復、教育、軍政までの広範囲にわたる難題を解決する。挫折や失敗も味わったでしょうが超人的な働きぶりです。

その拠ったるものは佐藤一斎から学んだ陽明学の知行合一説。知（知識）と行（行為・実践）は不可分なもので「良知は心の本体としての理の表れで

あり、この良知を物事の上に正しく発揮することで道理が実践的に成立する」という原理で、教育重視で学問所や寺子屋の増設、モラルの面で饗応・贈答、賭博の禁止などはその実践としてよく分かります。

士農工商の身分差別のある社会で、商人は「利をかすめとる卑しい存在」とされていた時代に商行為の社会的意義を認め、商人が質素、儉約、精進して適正な利益を得ることは世の中に貢献するという評価などは、聞きながらマックス・ウェーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を思い起こさせました。

また山田方谷の思想の源泉である陽明学は幕府の官学となり得ず、知を優先させ大義名分を重んじる先知後行説の朱子学が思想教育の基幹となる君臣関係、身分差別を重視し封建支配の思想的支柱となる官学としての役割を担い続けたこと。同じ儒学の朱子学と陽明学のこの力関係の中であって、山田方谷は合理主義でやや反体制的ともいえる天才的イノベーターとして持てる能力を存分に発揮した人物と言えらると思えました。

~~~~~

## 浦和レッズ 初優勝の感激!

赤間鉄雄(写真右 左は菅井さん)

苦節：苦しみの中でも志をかえないこと（『広辞苑』）

2004年10月20日。苦節十年と言われますが、浦和レッズが十二年目にして念願の優勝を果たしました。私はその瞬間を駒場スタジアムで見届けるといふ幸運に恵まれたのでした。

巷間言われるようにレッズはJリーグ発足から暫くは“弱小”、“お荷物”と酷評された



ように惨憺たる成績でした。その後は着実に力をつけ、終始安定した成績を収めますが、2000年にはJ2落ちとなりました。その時、「何とかしなくては」との思いが私のサポート本格化の契機になったのでした。

翌年、J1復帰後は確実にチーム力が向上し、昨年は「レッズの進化」が言われるようになり、今年は新監督就任、有力選手の入団で一気に強豪チームになりました。



10月20日、この日を待ち続けたサポーターの思いが交錯し、充満して早くから駒場スタジアムは異様な雰囲気でしたが、それはキックオフ直前の凄まじい紙吹雪で頂点に達しました。サポーターが持ち寄った紙吹雪はトラック数台分にもなり（私も10袋持参）、優勝セレモニーでも次々に降り注いで正に圧巻でした。この光景はテレビでも放映され、多くの人々が強い印象を受けたと思います（写真上）。

今、浦和レッズファンは増え続けています。その要因はいくつかあると考えられますが、毎試合スタンドで繰り広げられる華やかな応援であり、その演出の見事さ、豊富さが人々に感動を与え、それが新たにファンを生み続けているのでしょう。一方でそれがチケット入手を困難にしています。駒場はもちろん、大きな埼玉スタジアムも完売が多くなって、うれしい悲鳴が聞こえてくる場合があります。

新卒Jリーガーが多い中で大卒では筑波大が最も多く、かつ有力選手を輩出しています。法政大学は東京Vの柳沢将之、大分の伊藤哲也の2名が現役選手。指導者では大宮のトータルアドバイザー清雲栄純、仙台の元監督清水秀彦などです。

## 第13回法政大学全国卒業生の集い・神奈川大会に参加して

鹿野幸作

第13回法政大学全国卒業生の集い・神奈川大会が、“開かれた法政21・友との再会”をテーマに10月29～31日に横浜市にて開催された。

大会式典に先立ち、大会初日の29日にはエクスカッションAコース「親睦ゴルフコンペ」とBコース「横浜港ナイト・イルミネーション・ディナー・クルーズ」があり、Bコースに矢田、黒木両氏と小生の3名が参加。「マリンシャトル」でのクルージングで、横浜港の夜景を觀賞しながらバイキング料理を堪能した。

翌日30日の大会式典は、全国から集まった800名の卒業生たちが互いの再会を喜び合い、会場はオレンジ法政一色に染まった。通教からは、元オレンジ同窓会内田会長ほか7名が参加。

大会式典は、開会の言葉の後、参加者全員で校歌斉唱。次に物故者に対し黙祷を捧げた。続いて岡田安弘実行委員長から歓迎の言葉があり、佐伯弘治大会会長が主催者挨拶。来賓と

してご臨席された清成忠男法政大学総長、松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長、山内朗弘法政大学後援会会長からご祝辞をいただきました。なお、中田宏市長のご挨拶の中で、父と妹が法政大学のご出身ということで法政大学とはご縁が深いと述べられた。

その後、大会宣言があり、大会旗返還があったが、次年度開催の予定がないということで、一抹の寂しさを感じた。その後、閉会の言葉があり、式典は終了。

式典終了後、記念講演が開催された。講師は神和住純氏。演題は「テニスと私」。氏は昭和45年 経済学部卒業、現法政大学工学部教授。元プロテニスプレーヤー。

午後3時から「横浜港大さん橋ホール」にて盛大に懇親会が開催された。挨拶後鏡開きがあり、乾杯後、懇親会に入り、会場は感動と興奮で盛り上がりを見せた。アトラクションは法政大学応援団による応援歌吹奏。若さ溢れるチアガールがステージ狭しとばかりに躍動的で華麗な演技を見せ、卒業生を魅了した。

最後は卒業生が肩を組み、若き日に思いを馳せ、声高らかに校歌を合唱。校友の絆を感じさせる感動的な一コマであった。最後は閉会の言葉で締め括り、いつの日にかの再会を誓い合った。閉会後は、あいにくの雨の中を校友連れ立ち、中華街へ、そして横浜のネオン街へと消えて行った。大会3日目のエクスカージョンはCコース希望者による「古都・鎌倉散策」が行われ、3日間にわたって開催された神奈川大会は、盛況のうちに幕を閉じた。



## 法政むさし野会からのお知らせ

### ○通信教育部に図書館司書課程を開設

法政大学通信教育部では、平成17年度から図書館司書課程を開設することとなった。かねてより、資格取得を希望する学生が多かったこともあり、キャリアデザイン学部の協力を得て、今回開設の実現となった。図書館司書課程の開設は、通信教育課程を設置している同規模他私大では未開講となっており、本学が先陣をきった形となる。また今後も、通信教育部では、司書教諭の資格課程および、社会教育主事の資格課程も順次開講していく予定であり、資格課程の充実を図っていくという。

お問い合わせは、通信教育部事務部学務課「電話:03-5211-4452・4453」まで。(記・矢田)

### ○新会員紹介よろしく!

大野正雄さん〒334-0057 川口市安行原930-2-307  
電話048-297-9610 (法学部第1部卒)

#### ◆あとかぎ◆

あけましておめでとうございます。

昨年、5月22日の総会時に皆様の総意により新発足しました「法政むさし野会」は新しい年を迎えることができました。定期総会は年1回(6月)、会報は年3回(5, 9, 1月)、研究発表会は年2回を骨格にした行事計画をたてました。

会員の皆様の親睦を兼ねた勉強会ですから気軽にご参加ください。

(鳥海)